

島津製作所セミナー



日時：12月18日（月）17：00～18：00

場所：健康医科学イノベーション棟8階 講堂

演者：渡辺 一樹（島津テクニサーチ）
齊木 秀和（島津製作所）

受託分析のご紹介

近年、LC-MS・GC-MS・MALDI-MSを中心とした質量分析器の開発、普及により、それらを強力なツールとして網羅的解析（オミクス）の発展が目覚ましい状況にあります。島津テクニサーチは、これらのMSを用いたメタボロミクス・リピドミクス・プロテオミクス受託と、そこから見出される注目化合物の定量＝バイオアナリシスを担うことができる受託機関です。今回は、それらのサービスを簡潔にご紹介致します。



探針エレクトロスプレーイオン化質量分析計（DPiMS-2020）



DPiMS-2020

クロマト分離を伴う質量分析を行う場合、通常はサンプルに含まれるタンパク質や塩などの夾雑物を予め取り除く前処理が必要になり、すぐに分析を開始することはできません。DPiMS-2020は、それらの煩わしい前処理をほぼゼロにして、サンプルから直接質量分析が可能になります。さらに同一サンプルにおける長時間分析が可能であることから、化学合成等の反応過程の質量情報をリアルタイムで追跡できる画期的な装置です。今回は、本装置の概要とアプリケーション例をご紹介します。

お問合せ：島津製作所 段 磊 r_dan@shimadzu.co.jp

学内問合せ先：竹内 薫 TSMMセミナー担当：濱田 理人

主催：筑波分子医学協会（TSMM:Tsukuba Society for Molecular Medicine）

<http://www.md.tsukuba.ac.jp/tsmm/> 協会代表：大根田 修